

# 第9回 緩和ケア部会 報告

国立がん研究センターがん対策研究所  
がん医療支援部

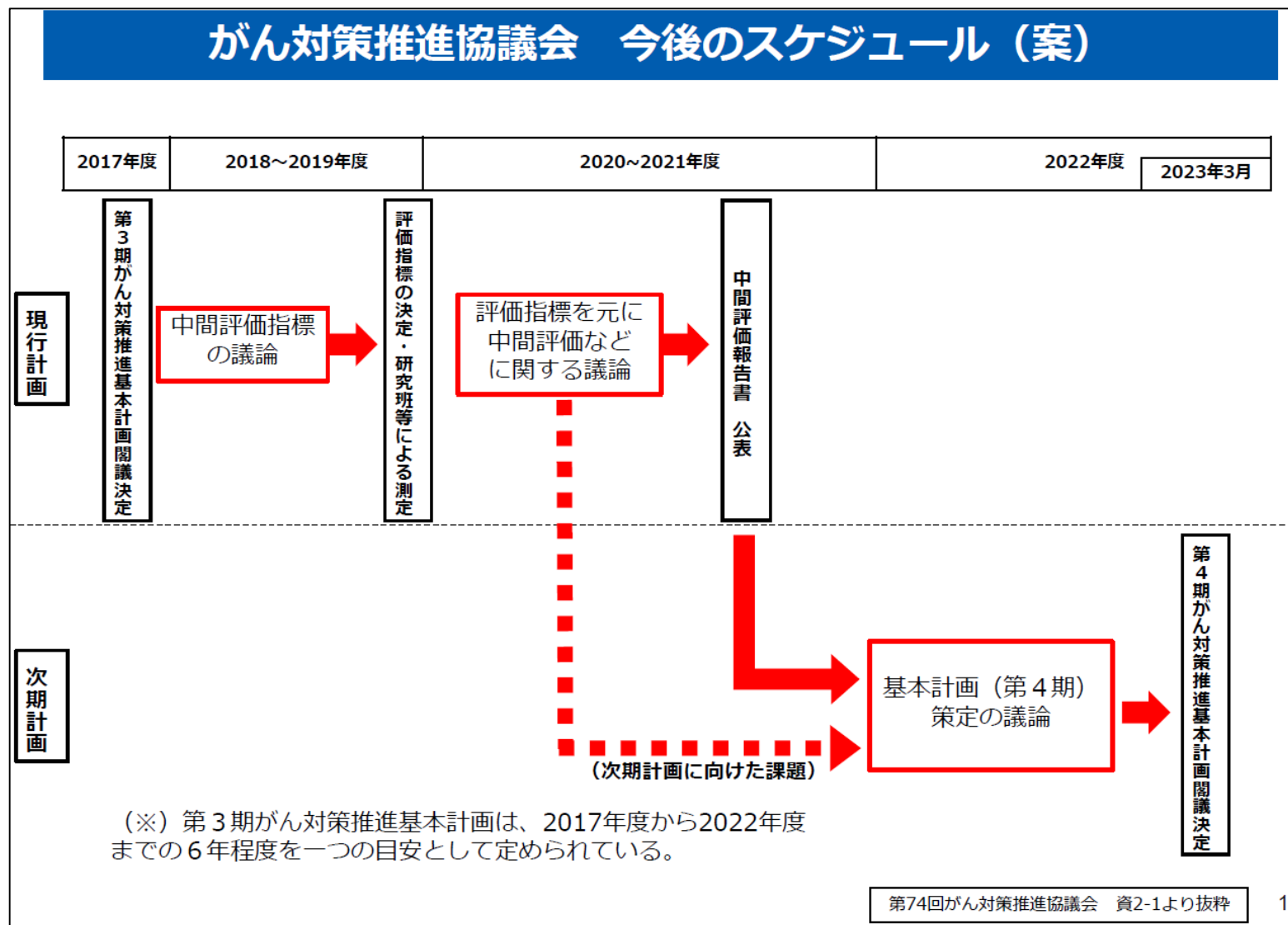
# 報告事項

## 第9回 緩和ケア部会（令和3年12月10日開催）

### 議事

1. 厚労省から情報提供
2. 情報共有
  - 地域包括ケアシステム策定への緩和ケア専門家の関与
  - 地域で取り組む緩和ケア診療体制
  - 地域の取り組み例（青森県）
  - 新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート結果
  - 緩和ケア研修会オンライン化の開催方法
3. 意見交換
  - がん診療連携拠点病院等の整備指針 見直し提案

# 厚労省から情報提供



# 厚労省から情報提供

## 「がんの緩和ケアに係る部会」におけるこれまでの議題

### 第1回（2021年7月2日）

- 診断時からの緩和ケアに関する議題について

### 第2回（2021年9月3日）

#### （1）：診断時の課題

- 「診断時からの緩和ケア」に求められる対応について
- 「がんへの適応」の一環として、告知や治療方針決定の場における対応が不十分ではないか
  - ・ 告知時の面接における望ましい指導内容
- 検査の場、診断が決定するまでの間における疼痛緩和、不安の軽減に対する対応が不十分ではないか
- 初診時からがん相談支援センターをさらに活用できるようにするべきではないか
  - ・ 特に診断時におけるがん相談支援センターの活用事例の共有

### 第3回（2021年11月5日）

#### （2）－1：治療期の課題（緩和ケアの提供体制について）

- 患者の苦痛を医療従事者が十分に把握できていないのではないか
  - ・ 患者の苦痛の把握
  - ・ 特に、主治医や担当看護師が担うべき痛みや苦痛への対応
- 治療を担う医療機関ごとに、緩和ケアの質を向上させる取組を検討するべきではないか
  - ・ 拠点病院以外の病院（都道府県指定のがん診療病院等）の取組の実態について
  - ・ 拠点病院の取組の実態を把握するための実地調査について

# 地域包括ケアシステム策定への緩和ケア専門家の関与 神戸大学医学附属病院 木澤先生

## 具体的な対応（例）

- 都道府県の担当者に、次期の医療計画の策定の際に、高齢多死社会を踏まえて、全ての重い病を持つ患者に対する緩和ケアの計画を立ててもらえないかと提案する
- 令和3～4年度に、各都道府県における専門的緩和ケア、在宅緩和ケアの提供状況を把握する
  - 何名の患者が、どのような病気で、どこでなくなるか把握
- 都道府県ごとの統計データと後掲するデータ等を参考に、各都道府県の緩和ケア部会において、どのように専門的緩和ケアを令和6年（2024年）からの5年間どのような体制で行うかを提案してほしい
  - がん拠点病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟が地域包括ケアとどのように連携するかを具体的にデザインする

# 地域の緩和ケア診療体制

## 国立がん研究センター東病院 小川先生

### 変化

- 在院日数の短縮化、COVID-19感染による面会制限等の影響により、拠点病院で終末期を診ることは減り、地域の病院への移行（地域包括ケア病棟や療養型病棟）の流れが強まる
- 終末期の緩和ケアの担い手は地域の中小規模病院（地域包括ケア病棟、療養型病棟）と在宅に移ってきている

### 検討にあがる対応策

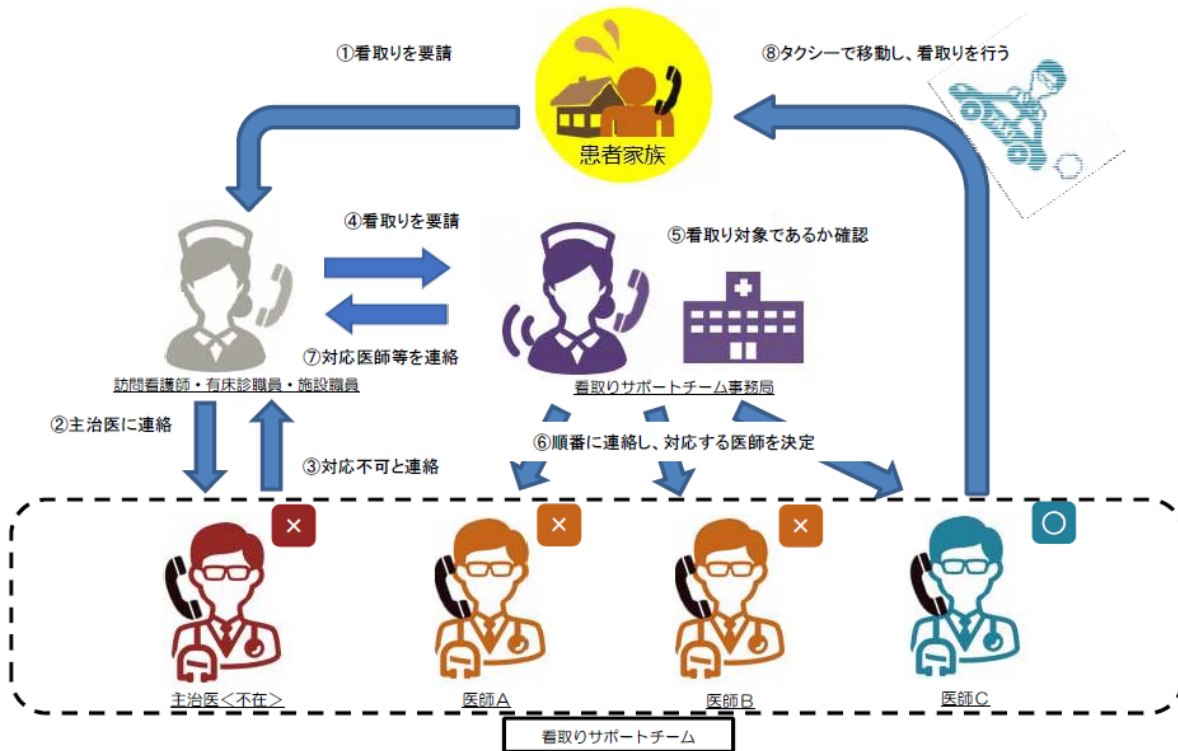
- 拠点病院から後方連携病院に移る際に、フォローアップを行い、ケアの断絶を防ぐ
- 緩和ケアチームが地域の後方連携病院の緩和ケアに関する相談対応を行う
- 後方連携病院を中心に緩和ケアの技術の向上を図る
  - 特に非がんを含めた高齢者の緩和ケア

# 青森県の地域包括緩和ケアシステムの推進

## 青森県立中央病院 山下先生

2017年 地域緩和ケア連携調整員アドバンスコース修了

### 在宅・有床診療所・介護施設の主治医等の不在時の看とりサポートチーム



青森県立中央病院は地域緩和ケア調整員の一員として  
マニュアルづくりや、地域(訪問看護や介護施設)への説明を行い、青森市医師会を  
支援する役割を担う

# がん診療連携拠点病院等の整備指針 見直し提案 作成プロセス

- 1 部会事務局 素案の作成** 2021.11中旬  
拠点病院への指定要件に関するアンケート結果と  
関係者間の意見に基づき 素案の作成
- 2 素案に対する部会委員の意見聴取（Webアンケート）** 2021.11.25  
回答 24 /115 名
- 3 提案内容について部会で議論** 2021.12.10  
アンケート結果に基づき素案の修正 ⇒ 部会で提案内容の議論
- 4 修正提案について部会委員に確認（メール）** 2021.12.27  
部会での議論内容を反映 ⇒ 修正提案をメールで確認
- 5 提案書確定** 2022.01月上旬  
修正提案への異論 3/115 名 のみ、他大多数は賛成とみなす



# がん診療連携拠点病院等の整備指針 見直し提案

都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会に提出 2022.02.28

## 1. 緩和ケアの地域連携の強化

- 提案1. 拠点病院は、患者が地域の医療機関や在宅での療養中に身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等が生じた場合、地域の医療介護福祉従事者の依頼に応じて緩和ケアの支援を行う
- 提案2. 拠点病院が、地域の患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等について支援を行う際には、主治医と緩和ケアチームが協働して対処する
- 提案3. 拠点病院は、都道府県をはじめ、地域の医療介護福祉施設と連携協力のもと、地域の看取りの状況や緩和ケアに関する医療介護福祉サービスリソースを把握し、地域の特性に適した方法で関係する医療介護福祉従事者や患者・家族・地域の住民へ情報を提供する

# がん診療連携拠点病院等の整備指針 見直し提案

## 2. 緩和ケアセンターや緩和ケアチームの体制強化

提案4. 拠点病院の緩和ケアセンターもしくは緩和ケアチームに、地域の医療介護福祉従事者や患者・家族との連絡調整、緩和ケアの提供体制の整備に係る書類等の作成などを担う専任の事務員を配置する（専従であることが望ましい）

提案理由：

拠点病院の緩和ケア提供体制のさらなる整備のためには、緩和ケアセンターや緩和ケアチームの事務処理機能の強化が必要である。

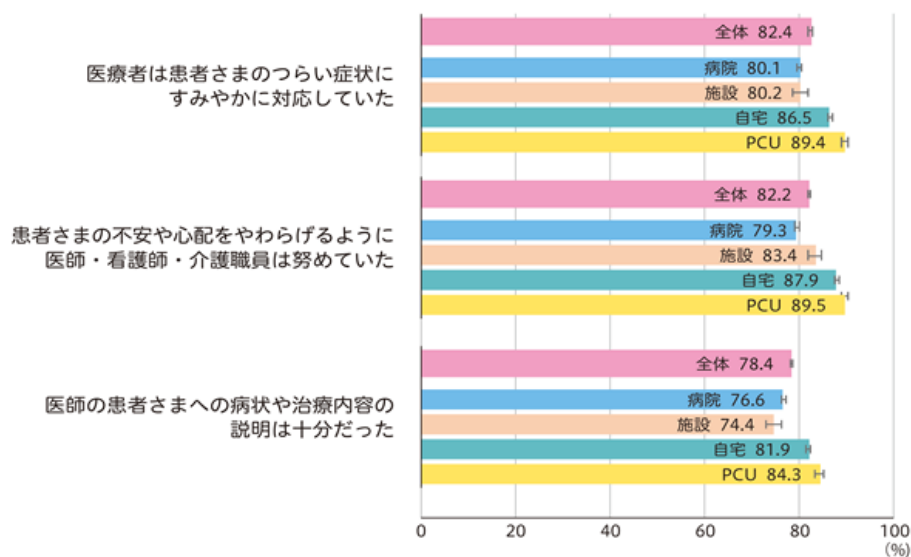
## 3. 行政関与の強化

提案5. 緩和ケアの地域連携を推進するため、都道府県は地域の緩和ケア普及推進を主導し、市区町村は地域包括ケアシステムにおいて緩和ケアが普及するよう拠点病院の関わりを推進する

# 人生の最終段階の療養生活 実態調査 (国立がん研究センター 遺族調査)

## 5万人のがん患者遺族から見た全体像公表 2022.03.25

### 死亡場所の医療の質



### 死亡前1カ月間の療養生活の質

